

2014-15 年度 R I のテーマ「ロータリーに輝きを」  
R I 会長 ゲイリー・C. K. ホアン (Light Up Rotary)

## 八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 工藤 武重 ●会長 榎 清蔵 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/>

Email : [hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)

RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org/2014/>

### 第 1908 回例会記録《ロータリー財団委員会担当例会》

2014 年 11 月 27 日 (木) 点鐘 12 : 30

レポート No. 1341

#### 第 1908 回例会要旨

- ・ 会長要件
- ・ 幹事報告
- ・ 各委員会報告  
《出席・親睦・コミュニケーション》
- ・ ロータリー財団委員会



熊谷 S A A

#### 《会長要件》榎会長



16 日にロータリーリーダーシップ研究会の 2 回目があり会長エレクトと一緒にに行ってきました。前回もお話しましたが参加している会長エレクト、副幹事は大体入会 2 年目から 5 年位の方が多く、ほとんど同じメンバーで勉強してきました。今回も四つのセッションに分けての勉強会でしたが、今回は自分のクラブをどのように感じているかそれぞれが発表したのですが、若い人たちが自分のクラブをどのように感じているかよく理解できました。あるクラブの会長エレクトのお話ですが、此の方は 30 代くらいの方で、世代のギャップを感じている、先輩のロータリアンは昔の話をよくするが、これからの話はあまりせず自分の考えばかり押し付ける。というような事でした。世代のギャップと言えば私も 60 代ですので 30 代の方々とは世代の違いがあり、若い人たちや入会して間もなくの人たちがそのような思いを持っているかという事に気づかないで接していると言う事もあるのかなと反省してきました。これから会長エレクトをやる人や、色々な役をやっていく若い世代の人たちと接して、ロータリーで楽しく過ごす為にも私も考えを変えていかないといけないと反省し、気を付けなければいけないと感じてきました。今日はロータリー財団の担当例会ですが、今回の RLI の最後のまとめとして地区の RLI 代表委員の山崎淳一さんからロータリー財団についてお話がありました。その中でロータリーの考え方として「職業を通して奉仕活動をする」、財団の考え方としては寄付という事がありますが、その寄付という行為に対して、ロータリーは「職業を通して奉仕活動をする」という考えの方々をお願いするときのヒントを頂いて来ました。「国際的な奉仕活動をするにはお金が必要なのでロータリアンとして出

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



#### 《出席報告》桜田委員長

正会員数 43 名。本日の出席は免除会員 3 名を含む 23 名。出席率 64%です。前々会の例会は、メーキャップ 1 名、出席率 76%でした。

来る範囲の金額の寄付でいいのをお願いできませんか、そうしないと世界的な奉仕活動が出来ません」というようにお願いすればいいのではないかという事でした。私の考えですが職業を通じての奉仕活動というのは、ロータリアンでなくても後ろ指をさされないような企業の経営をして、利益を出して、それが間接的に行政の方で使われる。例えば生活保護であり、そのほか様々なものに間接的に使われていますが、行政で出来ないものを民間でやるとなれば直接的に奉仕活動をするにはお金が必要だろうと思います。但しその人が出来る範囲での気持ちで寄付行為をしていくと言う事になるのではないかと考えています。

#### 《幹事報告》伊藤幹事

- ・ 例会変更のお知らせです。八戸 RC より 12 月 31 日 (水) の例会変更再送信が届いています。前回は当日のメーキャップかできないとのお知らせでしたが、メーキャップが出来るそうです。
- ・ 以前蕪島トイレの件で京都の小森さんという方から八戸クラブへニコニコが届いたというお知らせをしたことがあります、その方から南クラブ宛にニコニコを頂戴しました。
- ・ ガバナーエレクト壮行会のお知らせが届いています。1 月 10 日 (土) 弘前市のフォルトーナ、登録料一万円です。
- ・ ロータリーの友事務所から事業報告書が届いています。
- ・ クリスマス家族例会の出欠が回っています、皆様のご参加をお願いします。
- ・ レターボックスにロータリーの友 12 月号が入っています。
- ・ 12 月のロータリーレートは 112 円です。明日までに送金すれば 106 円ですのでよろしくをお願いします。



## 《ニコニコボックス》平光委員長

小森津枝子様：

ロータリーの友ありがとうございます。三浦様の暖かいお心遣いに感謝です。少額ではございますが、ニコニコにその気持ちを託します。



榊会長：ロータリー財団委員長、今日はよろしくお祈りします。

伊藤幹事：清川委員長、今日はよろしくお祈りします。

赤穂会員：榊会長写真ありがとうございます。

久保田会員：榊会長写真ありがとうございます。

三浦晃会員：小森様ありがとうございます。

平光会員：クリスマス家族会の出席とワインと景品のご協力よろしくお祈り致します。

## 《コミュニケーション委員会》米内委員長



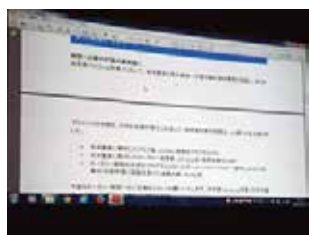
ロータリーの友の12月号ヨコ組の12ページから、ご夫婦でロータリアンの方が紹介されています。その中に川口PGの記事が載っています。そのほかに、タテ組みのわがまちという所に弘前市が紹介されたり、こぎん刺しが紹介されたりしておりますので目を通してみてください。

## 《ロータリー財団委員会》清川委員長

最初にビデオを3本ほど見ていただいた後にお話させていただきます。（日本で良い事をしよう、エンドポリオナウ、世界でロータリーに感謝、の3本を上映）このビデオは全部ロータリーのホームページからコピーしました。



ロータリーのホームページには色々な事が載っていますが、その中から皆様に見て頂きたいものを拾い出してご紹介しました。皆様も是非ホームページをご覧ください。私に届いているメールの中に財団への寄付が過去最高額にというものがありません。2013-2014年度において年次寄付、恒久基金への寄付額が過去最高額になり、ポリオプラスにも引き続き大きな寄付が寄せられ、総額2億5千万ドルになったそうです。日本では財団に一年間で約13億2千万円の寄付が寄せられその中から約12億7千万円を財団に寄付したそうです。私も少しですが寄付をしています。私たちの寄付金は有効に使われているという事です。



## 《熊谷地区補助金委員長》

財団には年次寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付の三種類ありますが、普段我々がしているのが年次寄付であり、恒久基金寄付は単位の大きな寄付です。年次寄付の全額がRIにプールされ三年後に我々に還

元されます。これには恒久基金の二年間の運用益もプラスされ、年次寄付と恒久寄付の収益の合算されたものが、国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)として半分ずつ分配されます。WFは先程のポリオとかタイの水などのグローバルなものに使われ、DDFは地区の活動資金ですので、我がクラブで行っているよろず相談などのプログラムに補助金として活用されています。2830地区で使える地区補助金は約300万円で、この補助金を使うプログラムを申請しているクラブが約20クラブです。平均すると補助金は約15万円ですが、プログラムの内容により8万円から20万円くらいの補助をしています。申請してくるクラブの中には、地区で使える総額が周知されていないのか150万円ほどの申請をしてきたクラブもありました。この地区補助金の原資は我々が普段寄付と呼んでいる年次寄付になります。この全額が三年後に戻ってきます。地区で使うのか国際的な事業に使うのかという事です。ある方が財団はある意味自転車操業だと言うような事を言っているのを本で読んだことがあります。これの繰り返しだそう。寄付が増えれば増えるほど補助金の額も増える事になります。額が増えたとある程度大きなプログラムも可能になります。寄付と言うとあまり良いイメージはありませんが、このように有効的な使われ方をしている事をお分かりいただければ、皆様にも積極的にお願いできるのではないかと思います。



## 《長嶺地区財団委員長》



おととい東京でロータリー財団地域セミナーをやってきました。地域セミナーというのは日本全国からゾーン1,2,3全部集まったの財団のセミナーです。この時のお話をしようと思いましたが時間があまりないのでお手元の「ロータリー財団の新しい資金モデル：知っておくべき10のポイント」という資料を後でご覧になってください。セミナーの資料に黒田会員の記事がありましたのでご紹介します。日本の財団は、公益財団法人日本ロータリー財団と言いますが理事長は千玄室さんで京都のお茶の先生です。副理事長が三人いらして黒田会員は奉仕委員会担当の副理事長として財団の役員をなさっています。

ロータリーの友11月号に財団月間という事で財団について色々載っていますが、ヨコ組の33ページにエバンストン便りというのがあります。この中でジョン・ジェームス氏が2016-17年度のRI会長ノミニーになりましたという記事が載っていますが、2016-17年度というのは私のガバナー年度のRIの会長という事になります。紹介記事の中に「私が心に描くロータリーは、ポリオ撲滅の達成、会員増強とアイデンティティーの確立、クラブの活性化、そして、ロータリーの未来を担う若者たちとの協力など、大胆に創造性をもって取り組む団体です。・・・後略」というように紹介されていました。また、ジェームス氏が目指す事、それは「ロータリーとは何ですか」

という質問を誰からも聞かれなくなることです。とも書いてあります。ロータリーの内容が皆さんに周知すれば「ロータリーって何ですか」という質問が来なくなることを目指したいと言う事で、ロータリーの積極的、効果的な公共イメージを向上する事に努めていきたいと言うような事が書いてありました。ジョン・ジェームス氏はインターナショナルポリオプラス委員会の委員長をなさっていて、ポリオは2018年に終息宣言をするという目的に向かって進んでいます。2016-17年度は翌年にこれを控えていますのでポリオ撲滅が2016-17年度の重点テーマになってくるのではないかと私なりに思っていました。その記事の横に財団の日本国内受賞者リストがあり、その中の特別功労賞という所に黒田会員が載っていました。特別功労賞というのは功労表彰状を頂いてから4年後になれるという賞のようです。功労表彰状は2830地区から五所川原の島村吉三久PGが頂いていますが、この功労表彰状を頂いた人たちが4年経ってさらに功績があると認められれば、今回黒田会員が頂いた特別功労賞を頂けると言う事になります。時間になりましたのでこの辺で終わりますが、地区の財団セミナーが来月の13日にありますので、詳しくはその時に発表したいと思います。

#### 《清川委員長》

長嶺さん、熊谷さんありがとうございました。再度のお願いで恐縮ですが、ロータリーのホームページを見ると色々な活動を見ることが出来ます。活動

の中には胸を打つようなビデオもありますし、自分のこれまでの寄付の状況なども見ることが出来ます。ぜひ皆さんホームページも活用して下さい。

---

#### 《関場PGからのメール紹介》

##### 三浦晃ロータリー財団副委員長

2014年11月11日現在、今年のポリオの発生状況は下記の通りです。

パキスタン 236  
アフガニスタン 18  
ナイジェリア 6  
ソマリア 5  
赤道ギニア 5  
イラク 2  
カメルーン 5  
シリア 1  
エチオピア 1  
総計 279

米疾病対策センター（CDC）と世界保健機関（WHO）の研究グループは死亡疾病週報（MMWR）11月14日オンライン版で、ポリオ患者および病原体サーベイランスの結果から2012年11月以降、3型野生株が検出されない状態が続いていると報告し、世界的に3型野生株の伝播がストップした可能性があるとの見解を示しました。ポリオウイルスの3つの野生株のうち、2型の世界的伝播は1999年に終息しています。ポリオ根絶を目指す私たちには、とても明るいニュースです。